



# 第4回「諏訪湖まるまるゴミ調査」結果

## 資料 7

諏訪湖創生ビジョン推進会議

- 1 調査目的 諏訪湖全域でゴミの調査を行い、「諏訪湖のごみの現状」を明確化する。得られたデータの集積及び公表により、流域内にお住まい、お勤めの皆様に関心を高めるとともにゴミの発生抑制に繋げていく。
- 2 実施日時 令和5年9月9日(土) 午前7時10分から概ね50分間
- 3 参加人数 172名(グループ数 30) 諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員、アダプトプログラム登録団体、一般参加者(参加希望者)
- 4 実施エリア 4エリア(別紙のとおり。⑤エリアはサイクリングロード工事のため未実施。)

- 5 調査種類 18種類 (飲料ペットボトル、ペットボトルのふた(単体)、レジ袋、肥料袋、カップ型飲料容器、空き缶(アルミ)、空き缶(スチール)、ピン、ストロー、紙くず、ビニール破片、たばこの吸い殻、食品トレー、発砲スチロール、弁当・惣菜などの容器、苗用ポット、プラスチック破片、マスク)  
※下線はプラスチック製品由来。たばこの吸殻については、フィルター部分が大部分を占めることから、プラスチック製品由来に分類。ビニール破片はお菓子の包装等の柔らかいプラスチック破片。プラスチック破片は硬いプラスチックの破片。

### 6 調査結果

諏訪湖周のごみの数量はプラスチック製品由来のものが全体の9割以上を占め、その内の6割以上が小さなビニール片やプラスチック片でした。

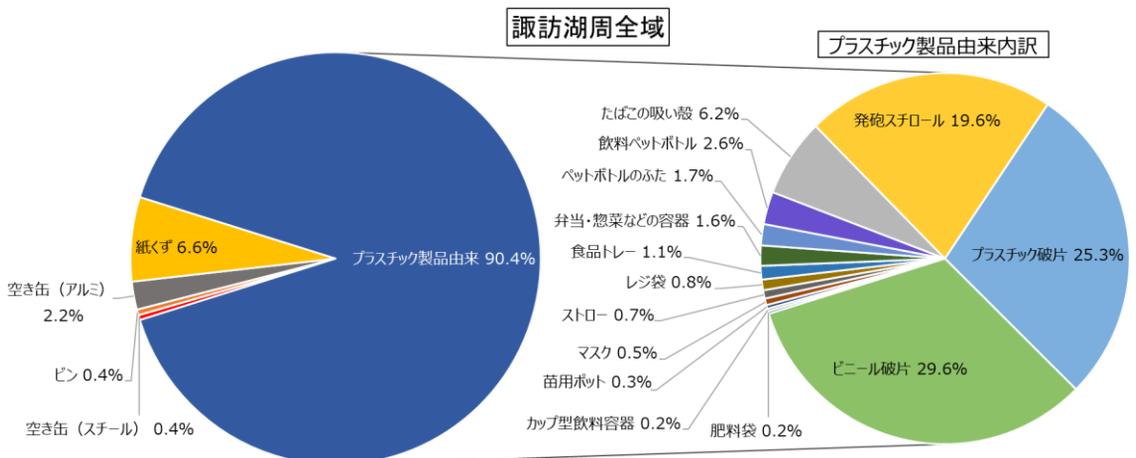
(1) 回収量 諏訪湖周全域で回収したごみの数と重量は以下のとおりです。

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 回収量(個)  | 全種類計：3,827個 (内プラスチック製品由来：3,458個) |
| 回収量(kg) | 可燃ごみ：134kg、不燃ごみ：13kg             |

| 種類            | ①   | ②   | ③     | ④     | ⑤ | 計(全域) |
|---------------|-----|-----|-------|-------|---|-------|
| 1 飲料ペットボトル    | 35  | 22  | 6     | 35    |   | 98    |
| 2 ペットボトルのふた   | 18  | 20  | 12    | 14    |   | 64    |
| 3 レジ袋         | 2   | 9   | 6     | 15    |   | 32    |
| 4 肥料袋         | 1   | 2   | 0     | 5     |   | 8     |
| 5 カップ型飲料容器    | 0   | 4   | 0     | 4     |   | 8     |
| 6 空き缶(アルミ)    | 15  | 17  | 3     | 49    |   | 84    |
| 7 空き缶(スチール)   | 4   | 7   | 0     | 4     |   | 15    |
| 8 ピン          | 5   | 5   | 2     | 5     |   | 17    |
| 9 ストロー        | 6   | 5   | 1     | 13    |   | 25    |
| 10 紙くず        | 36  | 127 | 37    | 53    |   | 253   |
| 11 ビニール破片     | 176 | 188 | 527   | 241   |   | 1,132 |
| 12 たばこの吸い殻    | 32  | 149 | 28    | 27    |   | 236   |
| 13 食品トレー      | 1   | 2   | 2     | 36    |   | 41    |
| 14 発砲スチロール    | 110 | 66  | 94    | 482   |   | 752   |
| 15 弁当・惣菜などの容器 | 36  | 1   | 2     | 22    |   | 61    |
| 16 苗用ポット      | 0   | 3   | 2     | 6     |   | 11    |
| 17 プラスチック破片   | 157 | 111 | 405   | 297   |   | 970   |
| 18 マスク        | 0   | 7   | 2     | 11    |   | 20    |
| 合計            | 634 | 745 | 1,129 | 1,319 |   | 3,827 |
| (内)プラスチック製品由来 | 574 | 589 | 1,087 | 1,208 |   | 3,458 |

※網掛けはプラスチック製品由来

(2) 回収割合 諏訪湖周全域の個数の割合を示します。エリアごとの割合は別紙のとおりです。



## 7 ふりかえり

調査の後、「ごみ拾いで感じたこと」、「諏訪湖にごみがあると、自然やみなさんのまわりにどんな影響があるか」、「ごみは、どこからやってきたか」という問いかけに関してグループごとにふりかえりを行っていただきました。

「プラスチックの破片が多かった。」、「花火など夏のごみが多い。」、「川の上流から流れてきたものや風で飛ばされたものが多いのではないか。」などの意見が寄せられました。

近年課題となっている被覆肥料と思われる「ビーズのような丸いプラスチックがかなりある。」といった意見も寄せられました。「大きなごみは少なかった。」、「昨年より少なかった。」など、地域の皆様の日ごろのご尽力や意識の変容をうかがわせるようなご意見もありました。各エリアの主なご意見等は別紙をご覧ください。

また、「あっという間に時間が過ぎた。」、「調査は疲れたけれど楽しかった。」など、イベントとして楽しむこともできたのご意見をいただくこともできました。

## 8 調査の様子



開会式 メイン会場(エリア③)



水辺での調査実施中



グループごとのふりかえりの様子



閉会式 メイン会場 (エリア③)

## 9 まとめ

プラスチックは成形しやすく衛生的であることから、身の回りの様々なものに使われています。しかし、紫外線や熱に弱いため、屋外で長く使われたものは劣化により細かくなり、風に飛ばされたり、雨に流され、31本の流入河川を通じて諏訪湖に流れてきています。

家や学校、お店や事業所の周り、さらに街中、農地等にある、劣化が進んだプラスチック等を片付けることで、諏訪湖の細かなごみを減らすことができます。「ごみの無い諏訪湖」、また今世界的に問題となっている海ごみを無くすためには、まずは身近な場所の点検と片付け、そしてごみを拾うことから始めていくことが重要です。

## 10 今後

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、第4回「諏訪湖まるまるゴミ調査」は3年ぶりに人数制限を行わずに実施されました。調査にご参加いただいた方に多くのごみを回収していただき、実態把握に繋がるデータを得ることができました。

今後は、調査により得られたデータを集積し、公表していくことで、流域にお住まい、お勤めの皆さまに関心を寄せていただき、ごみの発生抑制につなげ、「ごみの無い諏訪湖」を目指していきます。

調査は今後も引き続き実施していく予定です。